

時代	西暦	大阪府のできごと
旧石器	2万5000年前	二上山のサヌカイトを使用して、打製石器がつくられる 国府型ナイフ形石器が使用される(藤井寺市国府遺跡・大阪市長原遺跡など) たて穴式住居で生活をする人々が出現する(藤井寺市挟み山遺跡梨田地点)
	7000年前	縄文土器を製作・使用する(交野市神宮寺遺跡・東大阪市神並遺跡など)
縄文	4500年前	縄文海進(海水面の上昇)で、現在の河内平野が河内湾となる(八尾市恩智遺跡)
	縄文中期以降	貝塚が形成される(大阪市中央区森の宮遺跡・東大阪市日下貝塚など)
	縄文後～晩期	土面が使用される(和泉市仏並遺跡)
弥生	縄文晩期前3世紀以降	河内湾が海水面の低下によって、河内潟へと変化を始める
	前2世紀以降	稲作文化が西方よりもたらされ、水辺低地に農耕集落が出現する(八尾市山賀遺跡<弥生前期>・東大阪市鬼虎川遺跡<弥生中期>など)
	弥生前期以降	銅鐸などの、青銅器が使用される(八尾市跡部遺跡<弥生中期>など) 方形周溝墓が築かれる(大阪市平野区加美遺跡<弥生中期>・東大阪市瓜生堂遺跡<弥生中期>など)
	前1世紀	池上曾根遺跡(和泉市・泉大津市)で、大型高床式建物が築造される
	弥生中～後期	高地性集落が出現する(東大阪市山畑遺跡・和泉市観音寺山遺跡)
古墳	3世紀前半	製塩が、大阪湾沿岸で行われる(岸和田市土生遺跡)
	350ころ	<b>大和朝廷が国土を統一する</b>
	4世紀中頃	淀川・大和川水系の丘陵に、古墳が築かれる(高槻市弁天山古墳・柏原市松岳山古墳など) 景初三(239)年銘の、画文帯神獸鏡が副葬される(和泉市和泉黄金塚古墳)
	応神期	難波の大隅宮(大阪市東淀川区あたりか)に、都がおかれる
	仁徳期	難波の高津宮(上町台地北部か)に、都がおかれる
	5世紀	堀江(難波の入江の水を、直接海に放流するための水路)を掘り、茨田堤を築く
		猪甘津に、橋を架ける(文献にみられる、日本最古の橋)
		大阪南部(堺市陶邑古窯跡群など)で、須恵器の生産が始まる
	5世紀後半	奈良盆地に集中していた大型古墳が、大阪平野に増加する(河内王朝論の根拠の1つ)
		古墳の造営に、修羅が使用される(藤井寺市三ツ塚遺跡など)
古市(羽曳野市誉田山古墳など)・百舌鳥(堺市大仙古墳など)の2大古墳群が形成される		
上町台地の法円坂に、大型高床倉庫群が造営される		
6世紀	集落で、馬の埋葬が行われる(四条畷市部屋北遺跡, 2003年出土)	
	冢型石棺が、使用され始める(藤井寺市長持山遺跡など)	
	伝雄略天皇陵とされる円墳が築かれる(羽曳野市高鷲丸山古墳)	
6世紀後半	横穴式石室の普及により、古墳が小型化し、群集墳がさかんに築かれる(河内町・太子町一須賀古墳群など)	
	横穴墓の築造が始まる(柏原市高井田横穴群など)	
	高井田横穴群(柏原市)で、線刻の壁画が描かれる	
飛鳥	死者を火葬する風習がみられるようになる(堺市陶器千塚かまど塚古墳など)	
	552	物部尾輿らが、百濟の聖明王から贈られた仏像を、難波の堀江に流し捨てる(570年にも、同様の事件がおこる)
	585	物部守屋が、蘇我馬子の寺を焼き、仏像を難波の堀江に捨てる

	587	蘇我馬子、泊瀬部野皇子(のちの崇峻天皇)、厩戸王(聖徳太子)らが、物部守屋を滅ぼす(この時、厩戸王は四天王に勝利を祈願し、成就したならば四天王寺を建立すると誓願する)
	593	厩戸王(聖徳太子)が誓願どおり、摂津難波の荒陵に、四天王寺(大阪市天王寺区)を建立する(日本最古の官寺とされる)
	608	小野妹子が隋より帰国し、同行した隋の答礼使の裴世清が難波に至る
	613	難波から、京(飛鳥)への大道が開かれる
	645	<b>大化の改新が始まる</b>
		孝徳天皇が、難波長柄豊碕宮に都を移す(652年完成)
	667	天智天皇が白村江の戦いの後、唐の侵攻に備え、高安城(八尾市)を築造する
	679	難波に、羅城(難波を守るよう、地域を囲んで作られた城壁)を築造する
	683	天武天皇の複都制実施の詔により、難波宮は陪都(第2の都)となる
	686	難波宮が、大蔵省での失火により、全焼する
	710	<b>都を平城京に移す</b>
	726	聖武天皇が難波宮の再建に着手し、藤原宇合が、知造難波宮事に任命される
奈良	720~730 ころ	行基(河内大鳥郡<現堺市>出身)が寺院の建立や、狭山池(大阪狭山市)をはじめとする灌漑施設・橋・道などの建設といった社会事業を手掛ける
	744	恭仁京から、天皇の権威を象徴する高御座と大楯を運び、難波宮を皇都と定める(一時的なものにすぎず、その後も都を転々とする)
	754	唐僧の鑑真らが、難波に至る
	757	河内国から、和泉国が分立する
	784	長岡京への遷都により、難波宮が解体され、運ばれる
	785	三国川(現神崎川)が開かれ、淀川と結ばれる
	793	難波宮を廃して、摂津職を摂津国とする
	794	<b>都を平安京に移す</b>
	827	観心寺(河内長野市)が建立される
	844	難波鴻臚館を、摂津国府とする
	848	京畿に大洪水がおき、茨田堤が崩壊する
	850	摂津国で、八十島祭(天皇の即位儀礼の一連行事の1つ)を行う
平安	890 ころ	このころから、熊野詣が盛んになる
	960	四天王寺が焼失する
	1016	<b>藤原道長が摂政となる</b>
	1020	源頼信が、河内を本拠地とする(河内源氏の起源)
	1031	上東門院彰子(藤原道長の娘、後一条・後朱雀天皇の母)が、藤原頼通をはじめ、多くの者を従え、四天王寺・住吉神社を参詣する
	1091	河内国の所領をめぐる、源義家と弟の義綱が争う
	1176	後白河法皇が、四天王寺を参詣する(以後、数回に及ぶ)
	1184	源範頼・義経兄弟らが、摂津国に入る
	1185	源平の争乱の、屋島の戦い・壇の浦の戦いで、渡辺覚の水軍が活躍する
	1190	源頼朝が、四天王寺を参詣する
	1192	<b>源頼朝が征夷大將軍になる</b>
鎌倉	1228	近畿大風雨がおこり、摂津住吉社が破損する
	1237	四天王寺上座覚順が、悪党を率いて寺中に乱入し、警備の渡辺惣官と争う
	1286	僧の一遍(時宗の開祖)が、摂津国住吉社などに参詣する

	1294	悪党の乱暴停止についての太政官牒が下る 忍性 <small>にんしょう</small> が四天王寺 <small>べつどう</small> の別当に就任し、西門 <small>いしとり</small> に石鳥居 <small>いしゅうようぶん</small> （重要文化財）を建立、悲田院 <small>ひでんいん</small> （貧者などの救済施設）・敬田院 <small>きょうでんいん</small> （伽藍部）の2院を再興する
	1294？	楠木正成 <small>くすのきまさしげ</small> が、河内に生まれる
	1331	楠木正成が、後醍醐天皇 <small>ごたいごてんのう</small> の鎌倉幕府討伐に参加、赤坂城 <small>あかさか</small> （千早赤阪村）で挙兵する
	1332～3	楠木正成が、千早城 <small>ちばやじょう</small> （千早赤阪村）で、幕府軍を苦しめる
建武の新政	1334	前年より建武の新政が行われる 楠木正成が、恩賞方 <small>おんしょうがた</small> の一員となる 楠木正成が、摂津・河内・和泉の守護になる
	1335	後醍醐天皇が、『四天王寺縁起』を宸写する（国宝）
	1336	楠木正成が、湊川の戦いで足利尊氏に敗れ、自害する
南北朝	1338	北畠顕家 <small>きたばたけあきいえ</small> が、足利軍と渡辺橋・天王寺・阿倍野で戦い、敗れる 北畠顕家が石津の戦いで、越生四郎左衛門 <small>おごせしろうざえもん</small> に討たれ、戦死する 足利尊氏 <small>あしかがたかうじ</small> が征夷大將軍になる
	1347	池尻城 <small>いけじりじょう</small> （大阪狭山市）で、楠木正行 <small>くすのきまさつら</small> （正成の子）と細川顕氏 <small>ほそかわあきうじ</small> が戦う
	1348	四条畷 <small>しじょうなわて</small> の戦いで、楠木正行が高師直 <small>こうのもろなお</small> に敗れ、自害する
室町	1361	近畿大地震がおこる
	1392	明德の乱で活躍した大内義弘 <small>おのおうちよしひろ</small> に、和泉の守護職 <small>しゅごしき</small> が与えられる
	1399	大内義弘が、幕府に対し反乱をおこすが、堺で戦死する（応永の乱）
戦国	1457	河内国の土民らが蜂起し、関所を破る（当時、淀川の関所は616関）
	1461	河内国で、土一揆 <small>つちいつぎ</small> がおこる
	1467	応仁の乱 <small>おうにん</small> がおこる このころから、畠山氏 <small>はたけやまし</small> 、細川氏などの戦乱が続く このころから、遣明船が堺に入港（以後、堺は日明貿易の根拠地として栄える）
	1496	蓮如 <small>れんにょ</small> が、石山御坊 <small>いしやまごぼう</small> を創建する（1532年石山本願寺 <small>ほんがんじ</small> となる）
	1510	摂津・河内大地震がおこる
	1513	杭全神社 <small>くまたじんじや</small> （東住吉区）の社殿が改修される
	1532	堺大火により、数千戸が焼失する このころから、河内で、守護畠山氏と守護代木沢氏 <small>きざわし</small> の抗争が行われる
	1533	細川晴元 <small>ほそかわはるもと</small> が一向宗徒に敗れ、証如 <small>しやうにょ</small> が堺をいったん支配するが、晴元が巻き返し、証如は大阪へ向かう（1535年大阪で、晴元の兵が証如の兵を破る）
	1549	キリスト教が伝わる
	1550	フランシスコ=ザビエルが堺に上陸する
	1555	貝塚を中心とする地域が、石山本願寺の寺内 <small>じない</small> として、取り立てられる
	1560	三好長慶 <small>みよしながよし</small> が、飯森城 <small>いもりじょう</small> に入城し、河内の支配権を握る（1564年長慶、死去）
1561	親鸞上人 <small>しんらんしょうにん</small> 三百回忌法会が、大阪本願寺で行われる ガスパル=ヴィレラ、日比屋了珪 <small>ひびやりょうけい</small> に招かれて堺を訪れ、キリスト教の布教を始める（このころの堺は、会合衆 <small>えごうしゅう</small> の合議で市政を運営する、自由都市〈大阪では、平野も代表的な自由都市〉として発展する。この様子をヴィレラは、「ベニスの如く執政官に依りて治めらる」と報告する）	
1565ころ	このころから、三好三人衆 <small>みよしさんしんしゅう</small> と松永久秀 <small>まつながひさひで</small> の抗争がはじまる	
1568	織田信長 <small>おだのぶなが</small> が、石山本願寺に5000貫、堺に2万貫の矢銭 <small>やせん</small> （軍用金）を課す（1569年堺は、この要求に屈服する）	
1570	顕如 <small>けんにょ</small> が挙兵し、石山合戦が始まる（～1580年織田信長と和睦する）	

- 1576 木津川口の戦い(～78)で、織田信長と毛利輝元が戦う
- 1580 本願寺が焼失する
- 1582 山崎の戦いで、秀吉に敗れた明智光秀が戦死する
- 1583 豊臣秀吉が、大阪城の築城を開始する(1588年完成)
- 顕如が、貝塚御坊(願泉寺)に移る
- 1584 豊臣秀吉が大阪城を居城として、入城する
- 1585 豊臣秀吉が本願寺に、天満の地を与える(1591年本願寺、京都に移る)
- 1591 堺出身で、茶道を大成した千利休が、豊臣秀吉の怒りをかい、切腹する
- 1598 豊臣秀吉が死去する
- 1600 関ヶ原の戦いがおこる
- 1603 徳川家康が征夷大将軍になり、江戸に幕府を開く
- 1614 大阪冬の陣がおこる
- 1615 大阪夏の陣で、淀殿・豊臣秀頼が自害し、豊臣氏が滅亡、大阪城も炎上する
- 幕府が、松平忠明を10万石で、大阪に配置する
- 松平忠明が安井九兵衛らに、道頓堀の開削再開を命ずる
- 1619 幕府が、大阪を直轄領にし、大阪城代・大阪町奉行を置く
- 徳川秀忠が西日本の諸大名に対し、藤堂高虎を普請総指図役とし、大阪城の再建工事を命じる(翌年、工事が開始 1629年3期にわたる工事を経て、完成)
- 堺の船問屋が、江戸廻船を開始する(菱垣廻船のはじめ)
- 1626 大阪立売堀川の開削を行う
- 1636 住友友以が、長堀銅吹所を開設し、南蛮吹きで銅の精錬をおこなう
- 1649 大和川洪水のため、2万8000石が損失する
- 1653 大阪の青物市場が、京橋片原町から天満へと移転する(天満青物市場)
- 1662 岸和田藩が、藩札を発行する
- 1665 大阪城天守閣が、落雷のために焼失する
- 1672 河村瑞賢が、西廻り海運(航路)を開く
- 1684 河村瑞賢が、淀川下流の治水工事に着手し、安治川の開削を行う(翌年完成)
- 1685 竹本義太夫が、道頓堀に竹本座を開く
- 1688 井原西鶴が、『日本永代蔵』を刊行する
- 大阪に、銅座が設置される(～1712年廃止)
- 1697 堂島新地の繁栄策のひとつとして、米市が堂島河岸に移される(堂島米市場)
- 1703 近松門左衛門の『曾根崎心中』が、竹本座で初演される
- 1704 幕府が、大和川の付替工事に着手し、完成させる
- 1705 鴻池・菱屋らが、旧大和川近辺に新田を開発する
- 1716 享保の改革が始まる
- 1776 上田秋成が、『雨月物語』を刊行する
- 1783 大阪で、米価の高騰と買占めに抗議する打ちこわしがおこる
- 1789 寛政の大火(大阪南本町2丁目から出火)がおこる
- 1792 天満大火のため、焼失町数89、家数2118軒の被害が出る
- 1802 摂津・河内大洪水がおこり、淀川の堤防が43ヶ所決壊、河内149村浸水する
- 1805 伊能忠敬が、大阪市中を測量する
- 文楽軒が、人形浄瑠璃の興行を開始する
- 1810 和泉国4郡の農民が、繰綿問屋の買占めに反対して、訴訟を起こす
- 1820 山片蟠桃が、『夢ノ代』を完成させる

- 1822 大阪で、コレラが流行する
- 1830 お陰参りが、大流行する
- 1831 大阪町奉行の新見正路が、安治川を浚渫して天保山を築く
- 1833 ころ 大阪や江戸などの各地で、打ちこわしが続く
- 1837 大阪東町奉行所の元与力の大塩平八郎が、乱を起こす(大塩の乱)
- 1838 緒方洪庵が、私塾の適塾を設立する(福沢諭吉などが学ぶ)
- 1843 江戸と大阪に、上知令が出されるが、反対が強く廃止される
- 1853 **ペリーが浦賀に来航する**
- 1854 2度の大地震がおこる  
プチャーチンの率いる、ロシア軍艦のディアナ号が天保山沖に停泊する
- 1856 幕府が、安治川・木津川口に、台場を築く
- 1858 大阪で、コレラが流行する
- 1864 大阪町奉行所の与力、内山彦次郎が、天神橋で新撰組に殺される
- 1865 第2次長州戦争で、14代将軍徳川家茂が大阪に入城する
- 1867 この年の秋から、「ええじゃないか」の民衆乱舞が広まる  
**大政奉還が行われる**
- 1868 大阪が、開市(船の乗り入れは不可、滞在のみ許可)とされる  
戊辰戦争が始まり、15代将軍徳川慶喜は大阪城を脱出、大阪城が炎上する  
大阪鎮台(大阪府の前身)を設置(同年、大阪裁判所と改称)  
大久保利通が、大阪遷都を建白する  
堺事件(堺に上陸したフランス人11名を、警備の土佐藩兵が殺傷)がおきる  
明治天皇が、大阪に行幸する  
太政官布告によって、大阪裁判所が、大阪府として設置される  
淀川大洪水のため、神崎川の堤防が決壊する  
大阪府から、堺県が独立する  
大阪が、開市から、開港地となる  
川口居留地(外国人が貿易のため居住する場所)が、競売にかけられる
- 1869 大阪府から摂津県・河内県が独立し、摂津県を豊崎県(同年のうちに、廃止)、河内県を廃して、堺県とする  
大阪三郷を廃止して、東西南北の四大組とする
- 1870 大阪城内に、造兵司(のちの大阪砲兵工廠、陸軍造兵廠)を設置する  
堺紡績所が、操業を開始する(大阪の紡績業のはじめ)  
大阪・神戸間に、電信が開通する  
高麗橋が完成する(大阪初の西洋式鉄橋)
- 1871 人力車が導入され、流行する  
造幣寮の開業式を行う(大阪天満川崎)  
大阪・京都・東京間で、郵便が開始される  
大阪鎮台を設置する  
大阪府・高槻県・麻田県を廃止して、大阪府を再置する  
堺県・丹南県・吉見県・岸和田県・伯太県を廃止して、堺県を再置する  
泉布観(大阪市、日本最古の西洋建築物)が、造幣寮の応接所として、英国人のウォートルスの設計により、建設される(1956年重要文化財に指定)
- 1872 大阪府摂津7郡の区画を制定する  
大阪裁判所を設置する  
住吉社・箕面山・天王寺(四天王寺境内)を公園とする  
紅忠(呉服太物商)が創業する(現伊藤忠商事)
- 1873 大阪砲兵工廠の本館が建設される

- 1874 大阪・神戸間に、鉄道が開通する  
大阪府の新庁舎が完成(江之子島)し、開庁式を行う(1926年庁舎移転で取壊し)
- 1875 大阪会議が開催される  
管内全郡を、大区小区制に改める(1879年廃止)  
大阪府立博物館が創業する
- 1876 「大阪日報」(現「毎日新聞」)が、創刊される  
奈良県を廃止して、堺県に合併する  
大阪・京都間に、鉄道が開通する
- 1877 明治天皇が、鉄道開業式に参加、河内・堺などを巡幸する  
西南戦争の征討総督の本営が置かれるなど、大阪が軍事拠点となる  
コレラが流行する
- 1878 神崎川の付替え工事が完成する  
大阪株式取引所(大阪証券取引所の前身)が、北浜に開業する  
大阪製薬(株)が創業する(現大日本製薬)  
塩野義三郎商店が創業する(現塩野義製薬)
- 1879 「朝日新聞」が、創刊される
- 1880 第4回愛国社会議が大阪で開催され、国会期成同盟が結成される
- 1881 7郡役所を4郡に縮小する  
堺県が廃止され、大阪府に合併される  
大阪最初の洋式造船所である、大阪鉄工所(のちの日立造船)が創業する
- 1882 渋沢栄一の大阪紡績会社(現東洋紡績)が創業する(翌年操業開始)  
これ以後、多数の紡績会社が創業し、明治20年代後半の大阪は「東洋のマンチエスター(イギリスの軽工業の中心地の名前)」と呼ばれるようになる
- 1885 淀川大洪水が、6月・7月と2度おそう  
大阪事件(自由党の大井憲太郎らが朝鮮の独立運動支援と日本の内政改革をはかり、139名が逮捕される)がおこる  
関西最初の私鉄鉄道会社である阪堺鉄道会社(現南海電気鉄道)が、難波・大和川間の鉄道開業式を行う
- 1887 大阪府から、奈良県が分離し、現在の境界が定まる  
大阪電灯会社が創業する(現関西電力)
- 1888 大阪鎮台を、第四師団と改称する  
眺望閣が建てられる
- 1889 大阪・堺に市制が、その他の町村には町村制が施行される  
凌雲閣が建てられる  
大阪鉄道(のちに国営化)が、湊町・柏原間で開通する  
大阪市内の家庭に、電灯が初めてつく  
有限責任日本生命保険会社が創業する(現日本生命保険相互会社)
- 1892 日本綿花(株)が創業する(現ニチメン)
- 1894 **日清戦争がおこる**  
大阪天満紡績ストがおこる
- 1895 第四師団に、日清戦争への出動命令がくだる  
大阪市上水道の通水式が行われる(桜宮水源地)  
南海鉄道(現南海電気鉄道)が開通する
- 1896 淀川改修案が、国会で可決される
- 1897 南地演舞場で、初めて映画が上映される  
大阪市第1次市域拡張を行う  
大阪築港の起工式を行う(天保山砲台跡)  
このころから大阪は工業の発展とともに、「煙の都」とよばれるほど、煙突からの煤煙が問題となる
- 1898 大阪市が、普通市制に移行する  
南海鉄道と阪堺鉄道が、合併する

- 1901 与謝野晶子(堺出身)が、『みだれ髪』を刊行する
- 1903 第5回内国勸業博覧会が、天王寺一帯で開催される  
大阪市内河川に、巡航船が開業する(同年、客足を奪われた人力車夫 3000 余人が、巡航船を襲撃する事件がおこる)  
大阪築港大棧橋が完成する  
大阪市電が、築港・花園橋間に開通する
- 1904 日露戦争がおこる  
府立大阪図書館が開館する(中之島)  
第四師団に、日露戦争への動員令が下る
- 1905 泉北郡高石村に、捕虜收容所が建設される  
阪神電気鉄道が、出入橋・三宮間に開通する  
ペストが流行する  
大阪市内に、初めてのガスが供給される
- 1909 淀川の改修工事が完成し、新淀川の完工式が行われる  
北の大火(北区空心町から出火)のため、被災が 51 町におよぶ  
天王寺公園が開園する
- 1910 川上音二郎が、北浜に帝國座を創立する  
箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)が、梅田・宝塚、石橋・箕面間で開通する  
京阪電気鉄道が、天満・京都五条間で開通する  
池田室町住宅の分譲が開始される
- 1912 新世界(内国勸業博覧会跡地)に、通天閣・ルナパーク(遊園地)が完成する
- 1914 大阪電気軌道(現近畿日本鉄道)が開通する
- 1915 大阪市立動物園(天王寺動物園)が開園する  
第1回全国中等学校優勝野球大会が、豊中市豊中球場で開催される(第10回大会からは甲子園球場で行われる。現在の夏の甲子園大会の始まり)
- 1916 大阪中央公会堂の寄附者である岩本栄之助が、公会堂完成を見ずに命を絶つ
- 1917 淀川大洪水のため、右岸の大塚堤防(現高槻市)などが決壊する
- 1918 大阪府に、救済課が新設される  
大阪にも米騒動が波及し、警官・軍隊が出動する  
大阪府が、方面委員(現在の民生委員の原形)を設置する  
大阪市中央公会堂(中之島公会堂)の竣工式を行う  
パンの神戸屋が創業する(大阪市北区出入橋)
- 1919 職業紹介所の設置など、大阪市の社会事業が本格化する  
大阪市が、桜宮・鶴町に市営住宅を建設する  
婦人関西連合会が結成される
- 1920 第1回国勢調査が行われる(大阪府の人口は 258 万人)  
高井田横穴群の線刻壁画が発見される
- 1921 大阪最初のメーデーが行われる(14 団体、約 5000 人の労働者が参加)  
大阪市役所が、中之島に新築移転する
- 1922 天保山棧橋の竣工式が行われる  
大阪水平社が設立される  
大阪鉄道(現近畿日本鉄道)が開通する
- 1923 大阪市が、大阪電灯会社を買収する  
大阪松竹座が完成する
- 1924 大阪市内に、1 円タクシーが登場する  
大阪市内に、青バス(大阪乗合自動車)が登場する
- 1925 大正記念博覧会が開催される  
大阪中央卸売市場の開設が認可される(1931 年開業)

- 大阪市第2次市域拡張で、周辺の44町村を合併する(人口211万4804人、面積181.68km<sup>2</sup>となり、東京市を抜き、全国1位の都市「大大阪」の誕生)  
大阪放送局(NHK)が設立され、ラジオ放送を開始する  
道頓堀川にかかる、<sup>えびすばし</sup>戎橋が完成する  
1926 (株)<sup>たけだ ちやうべ えしやうてん</sup>武田長兵衛商店(現武田薬品工業)が、創業する  
郡役所を廃止する  
1927 大阪府の新庁舎が現在地に完成し、<sup>らくせいしき</sup>落成式が行われる  
大阪市営バス(銀バス)が阿倍野・平野間で、営業を開始する  
<sup>はんしんこくどう</sup>阪神国道が開通する  
1928 大阪市が、<sup>ぼうくうえんしゅう</sup>防空演習を行う  
1929 <sup>はんしんひやつかてん</sup>阪神百貨店が開業する  
木津川口に、飛行場が設置される  
四ツ橋に、文楽座が新築される  
1931 府立大阪医科大学が国に移管され、大阪帝国大学になる  
大阪城天守閣が再建され、大阪城公園・天守閣の竣工式が行われる  
第四師団・中部軍管区指令部庁舎が建設される  
1932 大阪国防婦人会が結成される  
大阪歌舞伎座が開場する  
1933 梅田・<sup>しんさいばし</sup>心斎橋間に、地下鉄が開通する  
<sup>けいはんこくどう</sup>京阪国道が開通する  
ゴーストップ事件(天神橋筋6丁目で、信号を無視した第四師団と注意した巡査のもめごとから、騒動となる)がおこる  
電気科学博覧会が開催される  
1934 近畿防空大演習が行われる  
<sup>むろと たいふう</sup>室戸台風が襲来し、府内が大被害を受ける  
1936 大阪城の外側に、<sup>きやういくとう</sup>教育塔が建てられる  
1938 阪神地方が、大風水害に襲われる  
<sup>まんちやう かいたくせいしやうねん ぎゆうぐん</sup>満蒙開拓青少年義勇軍が創設される(1939年移民を開始する)  
1939 伊丹に、大阪第二飛行場を設置する  
1941 **太平洋戦争が始まる**  
1943 <sup>しゅつじんがくと ごうどう そうこうかい</sup>出陣学徒合同壮行会が行われる(中之島公園)  
1944 <sup>たてもの そかい</sup>建物疎開が始まる  
<sup>がくどうしゅうだん そかい</sup>学童集団疎開を行う  
大阪での最初の空襲が行われる(中河内郡三宅村<現、松原市><sup>うりわり</sup>と瓜破村)  
1945 大阪府が50数回にわたる空襲を受ける(そのうち、<sup>おおさか だいこうしゅう</sup>大阪大空襲とよばれる大阪市への大規模な空襲が8回あり、多くの被害を受ける)  
**ポツダム宣言を受諾する**  
戦後初の、府議会が開会される  
<sup>まくらぎ たいふう</sup>枕崎台風によって、高潮の被害がでる  
<sup>れんごうぐん しんちゆう</sup>連合軍が、大阪に進駐し、司令部を置く(1948年撤収)  
大阪に、<sup>やみいち</sup>闇市が登場する(翌年、闇市取締りが実施され、一斉閉鎖)  
1946 発疹チフスが発生し、半年間続く  
1947 大阪府農地委員会が発足する  
初の公選知事として、赤間文三が就任する  
昭和天皇が、大阪へ行幸する  
大阪府食料緊急対策本部が設置される  
1948 大阪府教育委員会が発足する

- 1949 松竹新喜劇が、旗揚げ公演を行う  
天神祭の船渡御が復活する
- 1950 天王寺動物園に親善使節として、タイからゾウの「春子」が贈られる  
ジェーン台風が襲来し、多くの被害が出る
- 1952 豪雨災害により、大阪市・堺市などに災害救助法が適用される  
「大阪読売新聞」が創刊される
- 1953 トロリーバスが大阪駅・神崎橋間に、初めて開通する
- 1954 法円坂で、難波宮の発掘調査が開始される  
NHK大阪放送局が、テレビ放送を開始する  
第1回日本国際見本市が開催される
- 1955 人形浄瑠璃文楽が、国の重要文化財の指定を受ける  
大阪市警察を、府警察に統合する  
府立浪速大学(1924年設置)が、大阪府立大学と改称する
- 1956 通天閣が再建、開業する  
国際連合に加盟する
- 1957 国府遺跡の発掘調査がはじまる(これ以後、大阪で開発に伴う発掘調査が増加)  
なんば地下センターが開業する(戦後大阪で、最初の地下街)
- 1959 プロ野球の南海ホークスが、初の日本一になる
- 1960 NHK大阪放送局が、カラーテレビ放送を開始する  
大阪城公園内に、大阪市立博物館が開館する
- 1961 大阪府に、公害課を設置する  
大阪環状線が開通する  
第二室戸台風が襲来する  
千里ニュータウンの建設が始まる(1962年町びらきで、入居を開始)
- 1964 東海道新幹線が、東京・新大阪間で開通する
- 1966 泉北ニュータウンの建設に着工する(1970年完成)
- 1967 明治の森(箕面市)が、国定公園に指定される
- 1968 川端康成(茨木市出身)が、ノーベル文学賞を受賞する
- 1969 大阪市電が、全線廃止される
- 1970 「人類の進歩と調和」をテーマに、日本万国博覧会(大阪万博)が開催される
- 1972 山陽新幹線が、新大阪・岡山間で開通する  
大阪千日前デパート火災が発生する  
沖縄が日本に復帰する
- 近畿地方を集中豪雨が襲い、大東市住民が水害訴訟をおこす
- 1973 大阪で、光化学スモッグ注意報が発令される
- 1975 プロ野球で、阪急ブレーブスが日本一になる  
大阪市全域が、公害地域に指定される
- 1977 国立民族学博物館が完成する
- 1978 修羅が発見される(藤井寺市三ツ塚古墳)  
大阪砲兵工廠本館の取り壊しが発表され、市民らによる保存運動が展開される
- 1981 が、取り壊される
- 1982 大阪21世紀協会が発足する
- 1983 大阪築城400年祭り、大阪城博覧会が開催される  
第1回御堂筋パレードが開催される
- 1984 国立文楽劇場が開場する  
プロ野球セントラル・リーグで、阪神タイガースが21年ぶりに優勝し、初の日本一になる
- 1985
- 1986 大阪ビジネスパーク(OBP)の「ツイン21」がオープンする
- 1987 大阪国際交流センターが開館する

1990	国際花と緑の博覧会が開催される(鶴見緑地) 天保山ハーバービレッジ、海遊館が開設される
1991	大阪国際平和センター(ピース大阪)が開設される
1993	プロサッカー・Jリーグが開幕し、ガンバ大阪が参戦する
1994	アジア・太平洋トレードセンター(ATC)が開設される 関西国際空港が開港する
1995	阪神・淡路大震災がおこる 大阪ワールドトレードセンター(WTC)が開業する APEC(アジア太平洋経済協力会議)が、大阪で開催される タレントの横山ノックが、大阪府知事に当選する セレッソ大阪が、Jリーグに昇格する
1996	作家の司馬遼太郎が死去する
1997	細工谷遺跡で、富本銭と和銅開珎の枝銭が発見される 大阪ドームが開業する 第52回国民体育大会(なみはや国体)が開催される
1998	西淀川公害訴訟で、原告と国・公団との和解が成立する
2000	太田房江が、大阪府知事に当選する(全国初の女性知事)
2001	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)がオープンする サッカーのワールドカップが開催され、長居陸上競技場が会場となる(長居で、
2002	日本が決勝トーナメント進出を決める)
2003	プロ野球セントラル・リーグで、阪神タイガースが18年ぶりに優勝を飾る
2004	太田房江が、大阪府知事に再選される